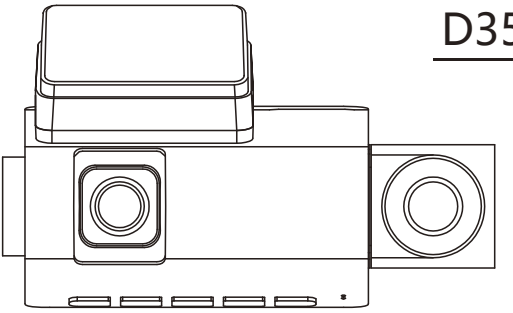
D35OS



ドライブレコーダー
取扱説明書

目次

バッテリー警告 …… 1
設置におけるご注意 …… 2
使用上のご注意 …… 2

1、はじめに
1.1 特長 …… 3
1.2 パッケージの内容 …… 3
1.3 製品の概要 …… 4

2、ご使用の準備
2.1 microSDカードの挿入 …… 5
本機の取り付け …… 6
2.1.1 シール式ブラケットでの設置 …… 7
2.2 電源への接続 …… 7
2.3 ステータス表示 …… 11
2.4 機器の電源オン/オフ …… 12
2.4.1 自動電源オン/オフ …… 12
2.4.2 手動電源オン/オフ …… 12
2.5 初期設定 …… 12
2.5.1 日付と時間の設定 …… 12
2.5.2 言語の設定 …… 13

3、ドライブレコーダーの使用 …… 13
3.1 ビデオ録画 …… 13
3.1.1 録画画面 …… 13
3.1.2 イベント録画 …… 14
3.2 駐車モード …… 15
3.3 Gセンサー …… 15
3.4 ファイル選択 …… 16
3.5 フォーマット …… 17
3.6 カメラ選択 …… 17

4、メインメニュー …… 18
4.1 メニューの使用 …… 18
4.2 メニュー項目 …… 19

5、仕様 …… 20

このガイドについて

ユーザーガイドの正確性には万全を期していますが、内容に一切の誤りがないという保証はありません。また、製品の改良などにより、仕様などの内容が若干異なる場合があります。

バッテリー警告

※常に付属のシステムを使用して充電してください。バッテリーを不適切に取り扱うと、爆発を招く恐れがあります。
※バッテリーを分解したり、穴を開けたり、ショートさせたりしないでください。
※バッテリーはお子様の手の届かない所に保管してください。
※バッテリーは絶対に火気に投じないでください。爆発することがあります。
※使用済みバッテリーの廃棄は、地方条例を順守してください。
※バッテリーの交換は決して自分で行わないでください。

設置におけるご注意

1．最大に広角の風景を録画できるようにするため、本機はバックミラーの近くに設置してください。
2．雨の場合もクリアな録画ができるよう、レンズは必ずワイパーのワイプ範囲内にあるように設置してください。
3．指でレンズに触れないでください。指の脂がレンズに残り、不明瞭なビデオ映像や静止画の原因となります。レンズは定期的にお手入れしてください。
4．本機をカラーフィルム装着のガラスに設置しないでください。カラーフィルムが損傷する恐れがあります。
5．本機は、カラーフィルムに妨げられない場所に設置してください。
6．本機は明るいフロントガラス、または薄色の耐熱フィルムガラスに適しており、暗色ガラスあるいは暗色の耐熱フィルムガラスに設置するとビデオ画質の劣化につながります。
7．付属の電源のみを使用してください。他ブランドの電源を使用すると、機器の燃焼またはバッテリーが爆発する危険があります。

使用上のご注意

※地域の法律と車両安全考慮事項に基づき、運転中は本機を操作しないでください。
※時刻と日付を正しく設定してから本機をご利用ください。
※本機の安全運転機能は目安です。実際の道路状況に従ってください。
本機は適用される法律の範囲内で、非営利の目的にご使用ください。弊社は本機及び付属ソフトウェアのご使用中に発生した、いかなるデータの損失に対しても責任を負いません。
※使用中、本機は熱を持ちますが、これは正常な状態です。
※本機の不適切な使用または操作は、本機または付属品の損傷の原因となり、保証の適応外となります。
※ユーザーによる分解は絶対に行わないでください。
※操作中に発生した、いかなるデータ・コンテンツの損失に対しても責任を負いません。

本機及び付属ソフトのご使用開始により、
上記の通知やご注意に同意されたものとさせていただきます。

1、はじめに

弊社のドライブレコーダーをお買い上げいただきありがとうございます。本機は運転中に、リアルタイムでビデオとオーディオの録画・録音ができるように設計されています。

1.1 特長

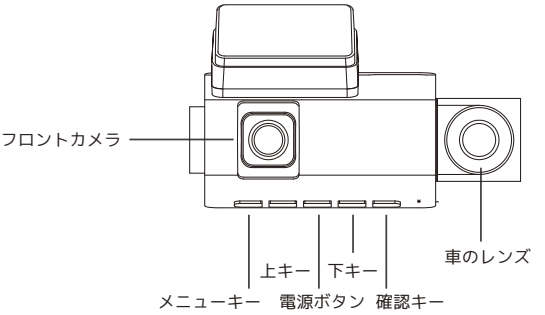
・HD (1280×720),30fps
・3”インチ LCDカラーモニター
・広角レンズ
・Gセンサーの自動緊急録画
・駐車モード (タイムラプス動画)

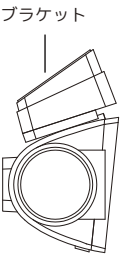
1.2 パッケージの内容

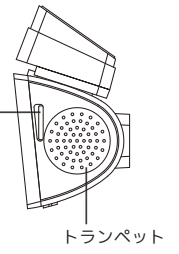
パッケージには次のアイテムが入っています。欠損品目または破損品目がある場合は、ただちに販売店にお問い合わせください。

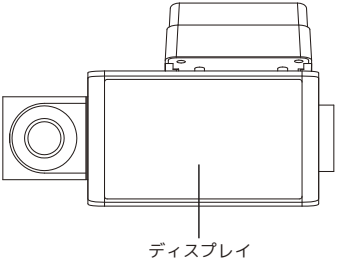
ドライブレコーダー	カーアダプター	本体用3Mテープ
リアカメラ	リアカメラ接続ケーブル	リアカメラ用3Mテープ
静電ペースト	クリーニングクロス	16GB microSDカード

1.3 製品の概要


フロントカメラ
車のレンズ
上キー
下キー
メニューキー
電源ボタン
確認キー


ブラケット

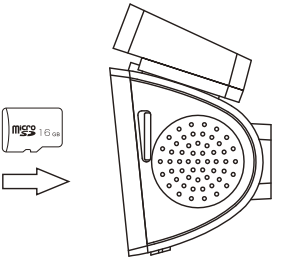

TFカードスロット
トランペット


ディスプレイ

2、ご使用の準備

2.1 microSDカードの挿入

弊社のドライブレコーダーをお買い上げいただきありがとうございます。本機は運転中に、リアルタイムでビデオとオーディオの録画・録音ができるように設計されています。



microSDカードの取り出し

microSDカードを押し込むと、カードがスロットから外れて出てきます。

注意：

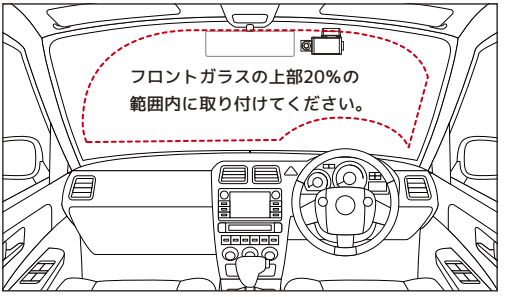
1．本機の電源がオンになっている時は、microSDカードの取り外しまたは挿入をしないでください。これにより、microSDカード及びデータが損傷することがあります。
2．Class 10以上の定格のmicro SDカード（16 GB以上、最大128GB）を使用してください。
3．初めて使用する時はmicro SDカードをフォーマットしてください。
4．microSDカードを取り外す時、カードが飛び出て紛失する可能性があるので注意してください。カードを簡単に取り外せるように、メモリーカードスロットにはバネが入っています。
5．定期的にmicroSDカードのフォーマットを行ってください（推奨期間：1ヶ月に１度）。

本機の取り付け

取り付けの注意をご確認いただき、本機を車両に取り付けてください

取り付けの注意：

※フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。
※両面テープは所定の位置に、しっかり取り付けてください。
※視界の妨げにならないように取り付けてください。
※ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に鮮明に記録できない可能性があります。
※ルームミラーの操作を邪魔しない場所に取り付けてください。
※車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
※フロントガラスの縁の着色部や視界の妨げとなる場所を避けて取り付けてください。
※エアバッグの動作や運転の妨げにならないように取り付けてください。
※本機の周囲に物を配置しないでください。映像に映り込む可能性があります。衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサーなどがルームミラー側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取り付けてください。
※設置前に取り付け位置で電源コードなどが接続でき、ボタン操作がしやすい位置か確認してから取り付けてください。



2.1.1 シール式ブラケットでの設置

1．静電ステッカーを取り外し、車のフロントガラスの必要な取り付け位置に貼り付けます。
2．接着ブラケットから保護シールを取り外します。
3．フロントガラスの静電ステッカーに本体をしっかりと押します。

図1

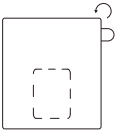


図2

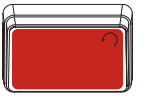
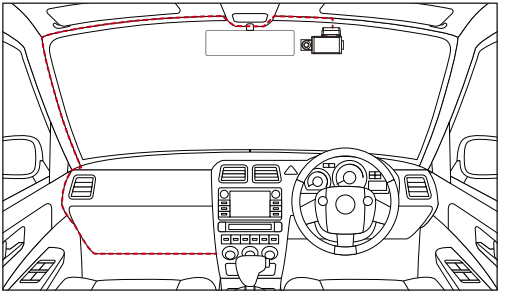


図3

2.2 電源への接続

付属のカーアダプターを使用して電源供給し、内蔵バッテリーを充電します。
1．カーアダプターのミニUSB端子を本機のUSBコネクターに接続します。(USBポート入力: DC 5V / 2.5A)
2．カーアダプターのシガープラグを車両のシガーライターソケットに差し込みます。自動車のエンジンが始動すると、本機の電源が自動的に入ります。(車両充電器入力: DC 12 / 24V)



注意：
本機はバックミラー近く、フロントガラスの中心に取り付けると最適な視界が得られます。

ステップ1 ：3Mテープでカメラを固定

最適な場所を見つけて、ナンバープレートランプの近くに付属のリアカメラ用3Mテープでリアカメラを固定してください。（カメラの角度を調整する必要がある場合は、リアカメラブラケットをネジで調整してください）

ステップ2 ：パネルを外す

トランクを開けて、リアハッチの内装パネルを外してください。（内張り外しやプラスティック製の硬いへらやプラスマイナスのドライバーなどの工具を用意してください。）

ステップ3 ：配線の引き込み

外側のパネルのネジをゆるく締めて、内張り外しでパネルを外して、配線をトランク内に引き込みます。

ステップ4 ：電源ケーブルをリアカメラの延長コードに接続

延長電源ケーブルを隠して、電源ケーブルをリアカメラの延長コードに接続してください。

ステップ5 ：赤線をバックランプに接続

バックカメラから延びる配線を室内側へ引き込めたら、バックランプの電源線から電源を取ります。車のマニュアルにバックランプの設置場所が記載されていますので、事前に確認します。通常はバックランプが車の広報にあります。
安全のため、作業する前にエンジンを切ってください。
バックランプを見つけたら、プラス極である赤線をバックランプの＋に合流させます。

ステップ6 ：バックカメラの配線の取り回し

内張り内部に配線を隠しながら、室内に純正配線が渡っているブッシュ付近までバックカメラの線を取り回します。ゴムブッシュを引っ張って抜いて、ハッチ側の穴に配線を通します。蛇腹トンネルの隙間が小さいので、テープで電源ケーブルと40cm～50cmくらいの針金を固定して、ゴムブッシュを通します。
その後、天井の内張りの隙間にバックカメラ配線を押し込んで隠しながら繋ぎます。

2.3 ステータス表示

バッテリーステータス

アイコン	説明
	バッテリーは充電済です
	バッテリーは2/3残っています
	バッテリーは1/3残っています
	ローバッテリー

注意：

1．周囲温度が45℃以上になってもカーアダプターは電源を供給できますが、リチウムイオンバッテリーは充電できなくなります。これはリチウムイオンバッテリーの特性であり、故障ではありません。

2．周囲温度が氷点下になると、電源は入りますが操作できません。

LEDインジケーター

ステータス説明	LEDインジケーターの色
電源オフ、バッテリー充電中	赤
電源オフ、バッテリー充電済	LEDオフ
電源オン、バッテリー充電中	赤
電源オン、バッテリー充電済	緑
電源オン、録画中	赤点滅

2.4 機器の電源オン/オフ

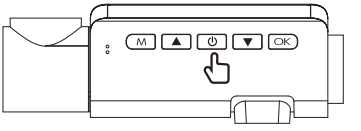
2.4.1 自動電源オン/オフ

自動車のエンジンが始動すると、本機の電源が自動的に入ります。

> **注意：**
> 自動電源オン/オフは、電源がシガーライターソケットに接続されていることを前提とします。

2.4.2 手動電源オン/オフ

手動で電源を入れる場合は、
[⏻] ボタンを押します。
電源を切るには、[⏻] ボタンを最低3秒長押ししてください。

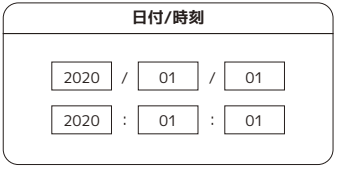


2.5 初期設定

本機を使用するにあたり、日時、言語を設定してください。なお、工場出荷状態では自動録画機能が有効となっております。初期設定を行い録画待機画面に移動後、自動的に録画を開始します。録画を停止するときは、[M] ボタンを押します。

2.5.1 日付と時間の設定

正しい日付と時間を設定するには、
以下の手順に従ってください。



- [M] ボタンを押してメインメニューに入ります。
- [▲/▼] ボタンを押して【日時】を選択し、[OK] ボタンを押します。
- [▲/▼] ボタンを押して数値を調整した後、[OK] ボタンを押して別の項目に移動します。
- 日付と時間の設定が完了するまでステップ3を繰り返します。最後に[OK] ボタンを押して設定を確定します。
- [M] ボタンを押してメニューを終了します。

注意：
ご使用中に時間にずれが生じる場合があります。その場合は再度、日時の設定を行ってください。
※1ヶ月に1度は必ず、日付と時間の再設定をおこなってください。

2.5.2 言語の設定
言語を設定するには、以下の手順に従ってください。

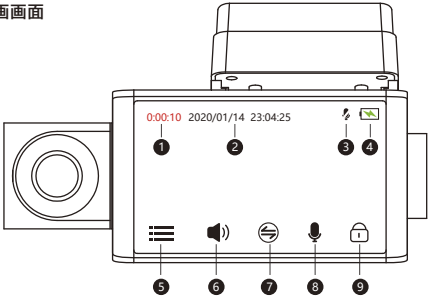
・[M] ボタンを押してメインメニューに入ります。
・[▲/▼] ボタンを押して【言語】を選択し、[OK] ボタンを押します。
・[▲/▼] ボタンを押して希望の言語を選択し、[OK] ボタンを押します。
・[M] ボタンを押してメニューを終了します。

3、ドライブレコーダーの使用

3.1 ビデオ録画

弊社のドライブレコーダーをお買い上げいただきありがとうございます。本機は運転中に、リアルタイムでビデオとオーディオの録画・録音ができるように設計されています。

3.1.1 録画画面

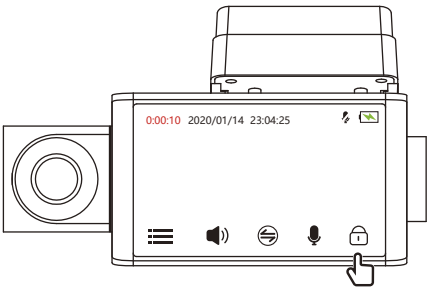


番号	項目	説明
1	録画時間	録画時間を表示します
2	日付と時間	現在の日時を表示します
3	録音	録音がアイコン上にあるかどうか
4	バッテリーステータス	バッテリーの状態を表示します
5	メニューボタン	を押してマシンメニューに入ります
6	サウンドアンプ	サウンドオン/サウンドオフを押します
7	画面変更	押して異なるレンズ記録画面を切り替えます
8	録音	を押してビデオ録画のオン/オフを切り替えます
9	ビデオをロック	を押してビデオの手動ロック/ロック解除を選択します

3.1.2 イベント録画

通常のビデオ録画中に、ボタンを押して緊急録画モードに入ります。

その直後に、画面の左上隅にある録画アイコンが赤から黄色の録画アイコンに変わり、録画されたファイルが上書きから保護されます。



注意：

1．Gセンサー機能を有効化している時に衝突が検出されると、緊急録画が自動的に始まります。

2．緊急録画ファイルが新規ファイルとして作成され、通常の録画により上書きされないように保護されます。緊急録画フォルダは、使用しているmicroSDカード容量の40%を使用します。たとえば64GBのmicroSDカードを使用している場合、約25.6GBが緊急録画ファイルに使用されます。緊急録画フォルダがいっぱいの時に、新しい緊急録画ファイルが作成されると、一番古い緊急録画ファイルが自動的に削除されます。

3.2 駐車モード

※駐車監視機能ではJADO純正降圧電源ケーブル（別売）が必要になります。純正ではない場合は動作しない可能性がございます。

[カメラ選択]または[感度設定]を有効にすると、駐車中に車両を監視することができます。

・録画中は[M] ボタンを押してメインメニューに入ります。
・[▲/▼] ボタンを押して【機能設定】を選択し、[OK] ボタンを押します。
・[▲/▼] ボタンを押して【カメラ選択】または【感度設定】を選択し、
[OK] ボタンを押します。
・[M] ボタンを押してメニューを終了します。

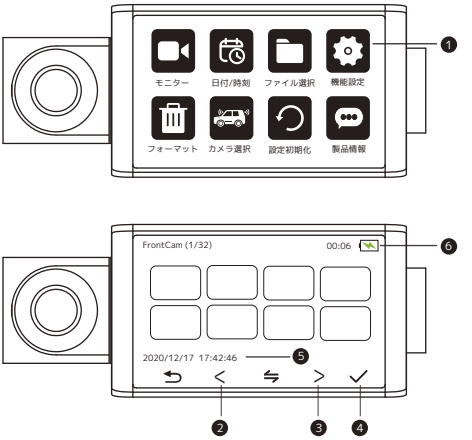
3.3 Gセンサー

Gセンサーが有効な場合、衝突を検出すると、本機は自動的に緊急録画を開始します。Gセンサーの感度は、工場出荷状態では「標準感度」に設定されています。設定を変更するには、以下の手順に従ってください。

・[M] ボタンを押してメインメニューに入ります。
・[▲/▼] ボタンを押して【機能設定】を選択し、[OK] ボタンを押します。
・[▲/▼] ボタンを押して【Gセンサー感度】（オフ/高/中/低）を選択し、
[OK] ボタンを押します。
・[M] ボタンを押してメニューを終了します。

3.4 ファイル選択

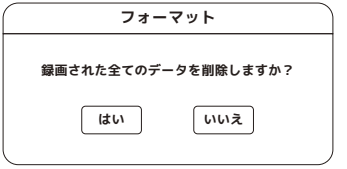
・録画中はおよび待機中[M]ボタンを押してメインメニューに入ります。
・[▲/▼]ボタンを押して【ファイル選択】を選択し、[OK]ボタンを押します。
・[▲/▼]ボタンを押して【常時録画】または【イベント録画】を選択し、[OK]ボタンを押します。
・[M]ボタンを押してメニューを終了します。



番号	項目	説明
1	ファイル閲覧	ビデオ再生
2	[上]ボタン(▲)	▲ ボタンを押して前の録画/静止画を表示します
3	[下]ボタン(▼)	▼ ボタンを押して次の録画/静止画を表示します
4	[OK]ボタン	OK ボタンを押して録画/静止画を再生します
5	日付と時間	録画した日付と時間（映像上に記録されています）
6	バッテリーステータス	バッテリーの状態を表示します

3.5 フォーマット

・[M] ボタンを押してメインメニューに入ります。
・[▲/▼] ボタンを押して【フォーマット】を選択し、[OK] ボタンを押します。
・[▲/▼] ボタンを押してオプションを選択します。



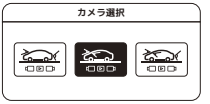
注意：
削除されたファイルは復元できません。必要なファイルは必ずバックアップしてください。

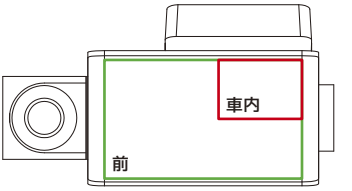
3.6 カメラ選択

1．モードONE
・[⏻] 録画中はボタンを押してメインメニューに戻ります。

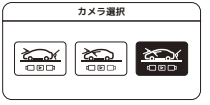
2．モードTWO
・[M] 録画中はボタンを押してメインメニューに入ります。
・[▲/▼] ボタンを押して【カメラ選択】を選択し、[OK] ボタンを押します。
・前後表示 / 前車内表示 / 前後車内表示の3モードを選択することができます。

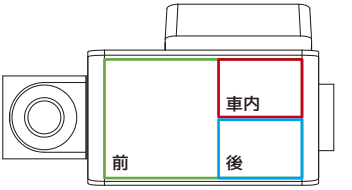
前＋車内　表示



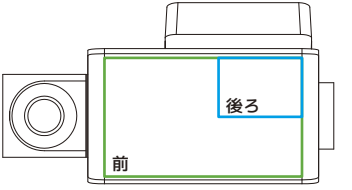


前＋後＋車内　表示





前＋後　表示



4、メインメニュー

4.1 メニューの使用

メインメニュー画面から、ビデオ録画や他の機能を設定できます。
・[M] ボタンを押してメインメニューを開きます。
・[▲ / ▼] ボタンを押してメニュー項目を選択し、ボタンを押します。
・[▲ / ▼] ボタンを押して希望する項目ボタンを押し、確定します。
・[M] ボタンを押してメニューを終了します。

4.2 機能設定項目

機能設定項目と設定内容については、次の表をご参照ください。

項目	説明	設定
録画サイズ	ビデオの解像度を設定します。	1920 × 1080　Full HD 1280 × 720　HD
1ファイル時間	設定した長さのファイルで録画を分割して記録します。	1分 ／ 2分 ／ 3分
音声録音	ビデオの音声録音を設定します。	ON ／ OFF
本体音量	再生音量を調整します。	0～+10
操作音	操作音のオン・オフを設定	ON ／ OFF
画面自動オフ	ビデオの録画を開始するときに、LCDモニターを自動的にオフするために長い照明時間を設定します。	OFF ／ 1分 ／ 3分
Gセンサー感度	Gセンサーの有効／無効と、検出の感度を設定します。 この機能を有効にしている時に衝撃を検出すると、本機は自動的に録画を開始します。	OFF ／ 高 ／ 中 ／ 低
言語	画面表示の言語を設定します。	English / 簡体中文 / 繁體中文 / 日本語 / 한국어/
表示項目	日付の表示を設定します。	日付＋モデル ／ 日付 ／ OFF
光源周波数	周波数のを設定して、LED信号機などのちらつきを軽減します。	50HZ ／ 60HZ
データの削除	ファイルを削除します。 注意：削除したファイルは復旧することができません。	常時録画 ／ イベント録画

5、仕様

項目	説明
外形寸法	W120mm × H55mm × D40mm
本体重量	約111ｇ（microSDカード含まず）
フロントカメラ	画素数：200万画素 Ｆ値：F2.2 広角：（D）140°（H）117°（V）60° フレーム：30fps
車内カメラ	画素数：125万画素 Ｆ値：F1.8 広角：（D）146°（H）125°（V）67° フレーム：25fps ライト：6個φ3　850フィルライト
リアカメラ	センサー：JX H65 画素数：125万画素 Ｆ値：F1.8 広角：（D）128°±3（H）135°±3（V）60°±3 フレーム：25fps 防水：IP67
記録媒体	microSDカード16～128GB対応（Class10以上）
撮影素子	1/4インチ　CMOSセンサー
有効画素数	200万画素
レンズ	広角固定フォーカスレンズ　F1.8
フォーカス範囲	1.5m～無限大
シャッター	電子シャッター
記録画角	フロントカメラ：170°　車内カメラ：140°　リアカメラ：140°
記録解像度	フロントカメラ：1080P（1920×1080） 車内カメラ/リアカメラ：720P（1280×720）
GPS	無し
WDR	有り

項目	説明
Gセンサー	有り
記録方式	常時録画 / イベント録画
録画ファイル構成	1分 / 2分 / 3分
画面サイズ	3.0インチ　LCDカラーモニター　640×360
音声	ON／OFF可能
フレームレート	30fps
録画ファイル形式	MOV
静止画ファイル形式	JPEG
インターフェイス	ミニUSB
バッテリー	ファラッドコンデンサ
電源電圧	DC12～24V
消費電力	7.5W
動作温度範囲	-25℃～65℃
保管温度範囲	-30℃～80℃
製品保証期間	ご購入日より30日（消耗品は除く）
付属品	本体、カーアダプター、本体用3Mテープ リアカメラ、リアカメラ接続ケーブル、リアカメラ用3Mテープ 静電ペースト、クロス、microSDカード（16G）

※本機および付属品は予告なく仕様の変更を行う場合があります。